

諮 問 事 項

「東京都消費生活基本計画の改定について」

諮 問 の 趣 旨

近年、社会の少子高齢化が進むとともに、経済のグローバル化や規制緩和の進展、高度情報化などにより、消費者を取り巻く環境は大きく変貌している。また、食品や身近な商品等の安全・安心が脅かされ、消費者被害が多発するなど、都民が安心して消費生活を送る上でさまざまな問題が生起している。

東京都は、消費生活行政について、これまでも消費生活基本計画に基づいて総合的・計画的に施策を推進してきたが、消費者の視点に立った取組を今後も一層強化していく必要がある。

このため、消費生活行政を効果的に推進していく向こう5年間の指針となる「消費生活基本計画の改定について」諮問するものである。